

未だかつて描かれたことのなかった
珠玉の紅花ヒストリー

最上紅花のドキュメンタリー映画

紅花の守人

ズにはばちのもうズと

ナレーション 今井美樹

唄 朝倉さや 「紅花摘み唄」「最上川舟唄」

企画・製作 映画「紅花の守人」製作委員会

音楽 小関佳宏 題字 長岡玲子

プロデューサー 高橋卓也 「よみがえりのレシピ」

監督 佐藤広一 「世界一と言われた映画館」

2021年／日本／85分／カラー／DCP／16：9



予告編動画

紅花のあやしき紅に魅せられた、現代の〈紅花の守人たち〉による奇跡の物語



● 未だかつて描かれたことのなかった 珠玉の紅花ヒストリー

紅花。私たちはその花のことを何も知らない。そんな思いがこの映画を作る旅の始まりでした。

7月初旬、青々とした畑に一点の黄色が灯る。半夏(はんげ)一つ咲き、それは間もなく一斉に咲き始める自然からのサイン。風景を一変させて咲き誇る紅花畑に人々が集い、一番摘みの花を口に含んで体を温め、赫の痛みに耐えながら花摘みに精を出す。遙か中近東を原産地とする花がこの山形に根付いた巡り合わせの不思議さがその光景に重なります。

江戸中期、紅染の原料として北前船で京阪地域に運ばれこの出羽の地に巨万の富と文化交易をもたらした奇跡の花は、手聞をかけ天然を生かすより利便性を優先する価値観の中でその存在感を薄くし、第二次世界大戦時には食料増産を理由に栽培が禁じられるに至ります。歴史の中で盛衰を味わいながらも守られ復活を遂げた最上紅花。

紅の精を集めて染め上げられた赤は忘れがたい印象を与えつつ、一期一会のはかなさを予感させる色。紅花が何故こうも私たちに惹きつけるのか。問いかける気持ちは尽きることがありません。

紅花は私たちになにをもたらしたのか。そして今後どう活かしていけばよいのか。この旅の中で多くの人たちとの出会いに恵まれました。栽培を継承する人、染めに向き合う人、文化・歴史を掘り起こす人。彼ら、ひたむきな「紅花の守人」の姿の中に、答えが少しずつ見えてきたように思います。

ナレーション 今井美樹

1986年シングル「黄昏のモノローグ」で歌手デビュー。「瞳がほほえむから」「PIECE OF MY WISH」「PRIDE」など数々の大ヒット曲を発表。



1991年公開の映画「おもひでぼろぼろ」では、主人公・タエ子役の声優で参加。

コメント

30年前、タエ子ちゃんと一緒に出会った紅花。人々がなぜ紅花に魅了されるのか、あの美しい紅の虜になるのか。紅花を守り、その歴史を紡ぎ続ける方々のまっすぐな姿がそれを教えてくれます。

唄 朝倉さや「紅花摘み唄」「最上川舟唄」

2013年、誰もがもつふるさとへの愛情、想いをしたためた泣き歌、自身の作詞・作曲による「東京」でデビュー。2020年ユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。



コメント

県花でもある紅花の歴史と今。そして携わる方々の思いを今で知り、山形の素晴らしさを改めて感じました。

映画「紅花の守人」製作委員会

山形市三日町1-2-10 榎谷時計店内

☎ 080-9639-9212

e-mail benibana.no.moribito@gmail.com

2022年 5月3日 祝 ①10:30 ②13:30 ③18:30 (3回上映)

上映後イベント:関係者舞台挨拶を予定しております。登壇者、日程等の詳細は決定次第下記公式サイトに掲載いたします。

会場:河北町総合交流センターサハトベに花 (河北町谷地所岡3丁目1-10)

主催:かほく町民大学ひなカレッジかほくシネマ倶楽部

後援:河北町・河北町教育委員会・河北町観光協会・河北町商工会

公式HP



お問い合わせ: ☎ 0237-71-1111 mail:syogai@town.kahoku.yamagata.jp (かほく町民大学ひなカレッジ実行委員会事務局 河北町教育委員会 生涯学習課)

前売券発売中

一般 1,100円 (当日1300円)

小中高大学生は当日800円でご覧いただけます

前売券販売所

「サハトベに花」(木曜日休館)